

## (ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針に則る情報公開)

このたび以下の研究を実施いたします。本研究への協力を望まれない場合は、下記の問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【研究計画名】 タウ PET による皮質基底核変性症・進行性核上性麻痺画像診断の検証

【研究責任者】 齊藤 祐子 (国立精神・神経医療研究センター病院 臨床検査部)

## 【本研究の目的及び意義】

皮質基底核変性症 (CBD) と進行性核上性麻痺 (PSP) は、臨床症状が類似しているために、臨床的な鑑別診断が難しいとされています。CBD と PSP では、ともに脳にタウタンパク質の蓄積が見られますが、患者の死後の脳を病理学的に調べると、2つの病気の間でタウの蓄積状態が異なっており識別可能であることが分かっています。そこで、PET と呼ばれる画像診断技術を使って、2つの疾患の間に見られる脳のタウ沈着の相違を生前に検出し、CBD/PSP 鑑別診断法を確立することを計画しています。そのためには、まず、PET 解析に用いる脳部位を決定する必要があります。そこで、NCNP ブレインバンクに現在蓄積されている脳リソースを用いて神経病理学的解析を行うことにより、CBD と PSP 間でタウ沈着が最も異なる部位を選出することを計画しています。

正確な診断は、患者様に良い医療を提供することを可能にし、効果的な治療薬の開発にも繋がります。

## 【本研究の実施方法及び参加いただく期間】

対象となる方

2009年4月以降、NCNP ブレインバンクに脳を寄託された方で、CBD または PSP の疑いがあると臨床的に診断された方

利用する試料・情報等

試料：脳

研究期間

倫理委員会承認日より 2019年3月31日まで

## 【共同研究機関】

東京都健康長寿医療センター	研究責任者	村山繁雄
新潟大学脳研究所	研究責任者	池内健
東京都医学総合研究所	研究責任者	長谷川成人
東北大学	研究責任者	岡村信行

2017年12月

## ○問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター病院

所属 臨床検査部 病理検査室 氏名 齊藤祐子

電話番号：042-341-2711 (代表)

e-mail：yukosm@ncnp.go.jp

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局

e-mail : ml\_rinrijimu※ncnp.go.jp (「※」を「@」に変更ください。)